

初めての植物観察覚書・梅雨期編 H.28年6月12日開催

初めての植物観察で見られた植物について、備忘録的に記録に止めておきます。この覚書は、行事の記録ですが、どなたでもホームページ <http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/ibaraki/index.html> 上からダウンロードいただけます。また、博物館三階のレファレンスルーム内に、バックナンバーと共に置いておきますので、ご自由にお持ちいただけます。次の観察会でも配布するように致します。観察会では、私の不勉強からわかりにくかったり、また、間違っていたりすることも時々(しばしばかも?)あるかと思えます。そういったものは、この覚書で訂正補正させていただきます。また、この行事では、中級クラス植物観察会の皆さんに解説その他ご協力を頂いています。ここに記してお礼申し上げます。

さて、この日は、雨降り。梅雨期編とはいえ雨の中での観察会、お疲れ様でした。雨脚も強まりそうだったので、この日はいつもと違って博物館から文書館までの歩道沿いの植物を観察することにしました。

まず、最初に観察したのは、博物館の建物の入り口にあるヒメクチナシです。中級クラスの田中さんにアカネ科の特徴を説明してもらいました。葉の付け根にある托葉が合わさって筒状になり、托葉鞘となっていましたね。花もよい香りでした。次に植え込みの中で見つかったのは、コメヒシバ。イネ科の植物で総(花序の軸)の縁にギザギザ(鋸歯)がないのが特徴でした。イネ科では、この他にもスズメノカタビラと思われるものもありましたね。次に、クスノキの観察です。葉の脈の走り方が特徴的でした。三行脈と呼ばれるものです。それからダニ室の観察もしましたね。その下の植え込みでは、ムラサキカタバミが花盛り。小川(彰)さんから詳しく特徴を伺いました。それから、観察会でチチコグサモドキとしたものは、見直してみるとタチチコグサの可能性もあります。下の方の葉はヘラ型になるらしくチチコグサモドキとの識別が難しくなるようです。また、足元を見ると、ツメクサやニワホコリがありました。ニワホコリは、やはりイネ科の植物で細い花序に小さな小穂をたくさんつけていました。園路に沿って進むと石垣の間からたくさんのシダが生えていました。まず最初は、イノモトソウ。葉の中軸に翼があるのがポイントです。翼が無いとオオバノイノモトソウになります。そしてマメツタの孢子囊群も見ました。



ヒメクチナシ



コメヒシバ



クスノキ



ムラサキカタバミ



タチチコグサ?



ニワホコリ



イノモトソウ



マメツタ

さらに、石垣にはトラノオシダやトキワトラノオ等、小さくて可愛らしいシダがたくさん生えていました。孢子嚢群は、ソーラスとも言いますなどと話をしましたね。その先の高い石垣では、ナガバタチツボスミレが見られ、足元にはノグルミの雄花序がたくさん落ちていました。ルーペ（虫眼鏡）で見ると、雄薬がたくさん見えましたね。その隣では、キンシバイの仲間の看板があり、学名の説明をしました。さらに文書館の方向に進むと、フユイチゴが蔓を伸ばしていました。隣では、背の高いムラサキニガナが花を咲かせており、花の構造を観察しましたね。キク科でもキク亜科とタンポポ科では、様子がだいぶ違うという話をしました。その後は、クサギの匂いを嗅いだりしながら噴水まで歩いて解散しました。



トキワトラノオ



トキワトラノオの孢子嚢群



ナガバタチツボスミレ



ノグルミの雄花序



学名の解説



フユイチゴ



ムラサキニガナの観察



ムラサキニガナの花

質問コーナー

行事の間に頂いた質問などにお答えします。ご不明の点は、メールなどでもお問い合わせください。

Q：これは何ムグラ？

A：観察会の時に見られた植物です。その時いろいろ議論になりましたが、私もはっきりわかりませんでした。仲間としては、アカネカのヤエムグラ属のもので、これに該当しそうな植物は、ヤマムグラ、ヨツバムグラ、キクムグラなどがあります。キクムグラは、花柄の先に1個の目立つ苞があり、その上につく花の一部にはほとんど柄がありません。ヤマムグラでは、小花柄が3-10mmと長く、花はまばらで輪生する4枚の葉は二枚ずつ大きさが異なります。一方ヨツバムグラでは、小花柄は1-3mm、花序は密で、輪生する葉はほぼ同形、そして果実には短い曲がった棘があるそうです。この時の植物は、既に果実の状態でしたが、果実の棘の有無は観察しませんでした。総合的に判断するとヤマムグラかなと思ったのですが、いかがでしょうか？



ヤマムグラ？

Q：キンシバイの学名は？

A：Hypericum patulum Thunb. です。ヒドコートというものもありましたが、これはキンシバイの園芸品種で学名は、Hypericum patulum cv. Hidcote と言うようです。

お問い合わせは以下まで。

〒770-8070 徳島県徳島市八万町徳島県立博物館 Tel 088-668-3636 F A X 088-668-7197

茨木靖 (いばらぎやすし) ibaragi_yasushi_1@mt.tokushima-ec.ed.jp

徳島県立博物館では、学芸員は交代勤務ですので年末年始以外は、誰かが居ります。植物については私が不在の場合、小川上席学芸員がいれば、ご質問にお答えできます。お気軽に博物館にご連絡ください。メールも大歓迎です。